



地域に誇れる
学校づくりを
みんなで
話し合おう

発行・お問合せ／和光市教育委員会事務局学校建設準備室 〒351-0192 和光市広沢1-5 電話 048-424-9144 FAX 048-464-7901 編集・ワークショップ運営／株式会社 松田平田設計

第1部 「計画趣旨説明」

■開催概要 第1回ワークショップ

日 時：平成26年2月26日（水）
場 所：坂下公民館別館2階 視聴覚室
テーマ：第1部 計画趣旨説明
第2部 ワークショップ「学校に併設される図書館分館への
ニーズと課題を考えよう！」

① あいさつ（和光市教育委員会 教育長 大久保 昭男）

新倉・下新倉地区の新設小学校建設が、いよいよ設計の段階に入りました。新設小学校が地域の皆様に愛される学校として、また、地域のランドマーク、地域コミュニティの核となる教育施設を目指して、地域の皆様のご意見等を設計に反映させていただきますのでご協力をよろしくお願いいたします。



② プロポーザル提案報告（株式会社 松田平田設計 岡田尚之）

地域のシンボルとなる新たな風景を創るために、地域の散策路として「パークアベニュー」と市民に開放された「市民広場」をプロポーザルで提案しました。

学校と地域が市民広場を中心として複合化する施設のあり方を地域の皆様と検討していきたいと思ひます。



③ グループで「マトリクス自己紹介」

各個人で自己紹介シートに自分に関するキーワードを挙げていき、その中で今回の学校づくりに関係ありそうなキーワードをグループ内で楽しく話し合ってもらいました。

ボランティアで読み聞かせや紙芝居活動を行っています！

ウォーキングを兼ねて防犯パトロールを行っています！

コマやけん玉、竹馬等の昔遊びが大好きです！



■ワークショップ メンバー表

・メンバー構成：グループA～Cの3グループとし、各グループ6人ずつの計18人でワークショップを行いました。公募によるメンバー募集を行い、様々な地域住民の方の意見を伺うことができました。

	グループA	グループB	グループC
①リーダー	山崎 すみ子	石田 秀樹	三宅 恭子
②保護者	関根 明代	反保 伸江	小林 裕子
③利用者	坂本 真人	田中 俊	山田 実
④公募市民	関口 泰典	田中 和巳	井上 明次
⑤市職員(担当課)	松戸 克彦	茂呂 あかね	白川 将実
⑥アドバイザー(設計事務所)	荘司 拓	岡田 尚之	宮田 多津夫

■ワークショップの進め方について

・テーマ：各グループにテーマが割り当てられ、グループAは④図書館分館、グループBは⑥保育クラブ・児童館、グループCは③パークアベニュー・市民広場と防犯防災について意見をまとめます。

・スケジュール構成：約2か月間で4回のワークショップを行います。

前半2回で共通テーマを全グループで話し合い、後半2回で各グループに割り当てられたテーマを各グループで話し合います。最終日には意見発表会を行い、各テーマの意見を共有します。

	第1回 [2/26(水)]	第2回 [3/12(水)]	第3回 [3/28(金)]	第4回 [4/9(水)]
【グループA】 テーマ④ ・図書館分館	〔共通〕計画趣旨説明＋自己紹介	〔共通〕テーマ④ ニーズ・課題抽出	〔各論〕テーマ④	〔共通〕まとめ
【グループB】 テーマ⑥ ・保育クラブ ・児童館	〔共通〕計画趣旨説明＋自己紹介	〔共通〕テーマ⑥ ニーズ・課題抽出	〔各論〕テーマ⑥	〔共通〕まとめ
【グループC】 テーマ③ ・パークアベニュー ・市民広場 ・防犯・防災	〔共通〕計画趣旨説明＋自己紹介	〔共通〕テーマ③ ニーズ・課題抽出	〔各論〕テーマ③	〔共通〕まとめ
議論の進め方	〔共通〕テーマを各グループ毎に議論		〔各論〕テーマを各グループで議論	
	まとめ		まとめ	

第2部 ワークショップ「学校に併設される図書館分館への要望と課題を考えよう！」

④ グループに分かれてワークショップ！

3グループに分かれて共通テーマの④図書館分館について学校に併設される上での要望〔表内○〕と課題〔表内☆〕を話し合いました。

グループA	グループB	グループC
<あり方> ○図書館分館に図書館本館とは異なる特色を持たせたい ○一般図書は他図書館からの取り寄せを前提にして児童用図書を充実させる等特色のある蔵書としてほしい ○図書館本館は中高生の利用割合が少ないので、中高生の利用を促進するような図書館にしたい ○世代間交流のある図書館にしてほしい ☆学校図書室と図書館分館の各特徴をどう持たせて一体化の連携を図るか？ <スペース> ○学校図書室と図書館分館の相互利用スペースとして読み聞かせスペースを設けると望ましい <ソフト> ○学校図書室と図書館分館の相互利用を検討し、すみ分けを工夫し、蔵書が重複しないようにしてほしい ○保育クラブ・児童館と開館時間を合わせてほしい ○学校図書室・図書館分館ともに市民の相談員・アドバイザーを置いてほしい ○図書の蔵書についてはニーズを踏まえて計画してほしい ○介護・福祉関連の蔵書も置いてほしい ○土日と放課後に学校図書室を開放してほしい ☆管理の一元化(書籍・安全面)実現のためにどうすればいいか？ <セキュリティ> ☆図書館分館と学校図書室を一体利用した際の安全管理は？	<あり方> ○学校図書室を放課後、休校日に児童・市民が利用できるようにしてほしい ○本館、分館、公民館図書室のデータベース化とオンライン化を実現してほしい ○足腰の悪い人がスムーズに入館できるようにしてほしい ○2階に配置していることからバリアフリー化を検討してほしい <スペース> ○幼児が親子で楽しめるスペースを設けてほしい ○児童や市民が自主学習できるスペースを設けてほしい ○既存の児童センターの図書スペースを新児童館に設置できなければ、その部分をカバーできるコーナーを設置してほしい <ソフト> ○場所としての機能を持たせるために館内の飲食を許可を検討してほしい ○今流行りのコーヒショップ併設を検討してほしい ○小学生が放課後に学校図書室、図書館分館を利用できるようにしてほしい ○図書館本館とは異なる特色を持った蔵書を入れてほしい ☆管理上、学校図書室の開館時間以外の活用をどうするか？ <セキュリティ> ○学校図書室への一般利用者出入口は、児童用出入口とは分けてほしい ☆学校図書室への不審者の侵入をどう防ぐか？	<あり方> ○借りるだけではない、居心地のよい図書館分館にしてほしい ○空間を有効に利用するため、学校図書室と図書館分館を一体とし相互利用できるようにしてほしい。ただし、授業中は部分的な開放にした方がよい。 ○高齢者が読み聞かせ等でボランティア参加できる図書館分館にしてほしい ○車で来れるように駐車場整備をしてほしい ☆一体的に利用可能な時間をどう設定するか？ ☆一体的に利用可能なスペースをどう設定するか？ <スペース> ○外を眺めながら本を読めるスペースを設けてほしい <ソフト> ○インターネット設備を設けてほしい ○幼児・乳児用の託児コーナーを他の利用者に遠慮なく使えるように設置してほしい。 ○座敷(畳敷き)の読み聞かせスペースを設けてほしい <セキュリティ> ○入館する人は事前登録制にしてセキュリティを高めてほしい ○図書館司書が常に見守る図書館分館にしてほしい ○学校の防犯上は学校図書室と図書館分館を明確に区分したほうが良い ☆学校図書室と図書館分館を管理上どのように仕切り、区分けをするか？